

# toRuby 2007-2008

- とるびい 私の場合 -

InternetWeek2008 IKEZAWA 2008/11/25

はじめに  
toRuby  
について

toRubyは「とるびい」

- ・と は栃木のと
- ・拠点 那須塩原市西那須野公民館
- ・活動 勉強会  
定例:月1回 / 増刊号:不定期
- ・勉強会 読書会 + 写経 +
- ・増刊号 ゲストセッション

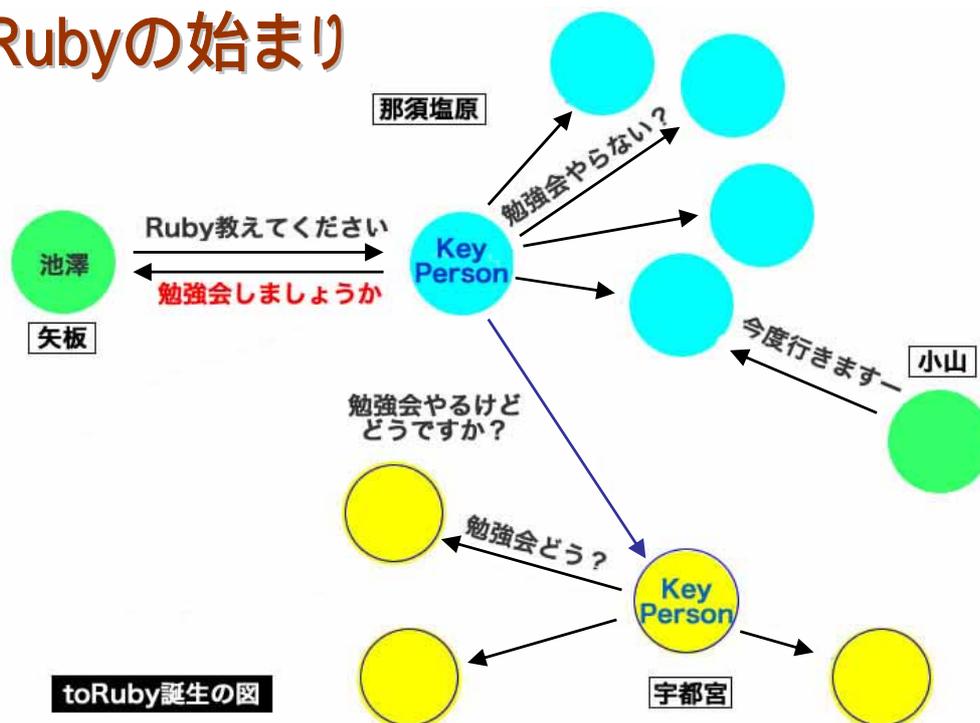
toRuby  
誕生

## toRubyの経過

- ・2007年2月 企画スタート
- ・2007年3月 勉強会開始
- ・2008年11月現在

20回くらい 勉強会開催  
3回 増刊号開催

## toRubyの始まり



## toRuby 勉強会の様子

- ・**ポジペ** 話題は広範 Rubyと無関係 いつも長い
- ・**写経** 「楽しいRuby」 来年から「dRuby本」  
ああだこうだ言いながら  
質問が出たり 誰かが説明してくれたり  
コードを画面に表示しながら  
咳さんが説明してくれたり、動かしてみたり
- ・**その他** いろいろな話題に展開
- ・**時に** コードレビューなども

## toRuby 増刊号の様子

- ・**お客様** たくさん特別講義をしていただきました。  
遠方からたくさん参加していただきました。
- ・**内容** 特別スピーチのほかは定例会と一緒に  
ポジペと写経が基本
- ・**その他** いろいろな話題に展開
- ・**最後はいつも** 懇親会

# toRuby

## 私の場合

### 自分の背景

- 自営業 / データ処理
- AWKを始めたのが30代後半  
Perl, Rubyと乗り継ぐ
- テキストデータをスクリプトで処理
- 仕事はいつもひとり



# キーワードは 「勉強会しましょうか」

toRubyで発見したもの

- ・自分の生きる文脈
- ・自分の位置づけなおし
- ・人との出会い

参加している喜び

# 新しい動機づけによる展開

例えば

TMTOWTDIの誤読疑惑

もっとよいやり方は？

## 近さ重要

- ・ 「聞く」ことの敷居を下げよう
- ・ 「悪い質問」など実はない
- ・ 「受容」から始めよう
  - = コミュニティの圧倒的Power
- ・ 近く から 遠く・広く・深くへ

# 副作用重要

[表層] 知識・技術の勉強

[実は] 多様な文脈の発見

# toRuby

## 課題

## toRubyの今後は？

- ・活動内容 当面いまのまま(多分)
- ・メンバー 遠くてなかなか参加できない人もいる。  
地元ではやはりパイは小さいか？  
大きくなっても良いとは思うけど。
- ・お金 講師の謝礼・交通費など  
いい仕組みは？

もっと  
toRuby

toRubyのような  
小さな勉強会が  
たくさんできると  
よい

職場でも  
地域でも  
個人も組織も  
デキル人もデキナイ人も  
老いも若きも  
男も女も

単発に終わっても  
失敗とは思わない  
何回でも  
トライすればよい

ありがとう  
ございます